



## 平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月6日

上場会社名 あすか製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 長尾 智仁 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	12,761	△0.4	1,217	13.1	1,355	15.5	1,062	1.8
30年3月期第1四半期	12,813	6.9	1,077	132.8	1,172	97.1	1,043	98.3

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,188百万円 (△31.6%) 30年3月期第1四半期 1,736百万円 (643.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	37.67	-
30年3月期第1四半期	37.10	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	75,963	43,550	57.3
30年3月期	66,235	42,559	64.3

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 43,550百万円 30年3月期 42,559百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	7.00	-	7.00	14.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	7.00	-	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,000	△4.2	1,100	△41.2	1,200	△39.8	800	△51.3	28.38
通期	49,000	0.1	1,000	△64.6	1,200	△61.0	1,000	△58.1	35.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年8月6日）公表いたしました「平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	30,563,199株	30年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	2,372,342株	30年3月期	2,372,342株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	28,190,857株	30年3月期1Q	28,131,563株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 主力品の売上高	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期に比べ、ほぼ横ばいの127億6千1百万円（前年同期比0.4%減）となりました。利益面につきましては、売上構成の変化に伴う売上原価率の低下等により、営業利益12億1千7百万円（前年同期比13.1%増）、経常利益13億5千5百万円（前年同期比15.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益10億6千2百万円（前年同期比1.8%増）といずれも増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 医薬品事業

主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」や、平成28年11月に発売した難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」等の売上は拡大しましたが、その一方で、本年4月に実施された薬価改定の影響もあり、売上高は114億7千5百万円（前年同期比1.4%減）と若干の減収となりました。一方、利益面では、売上原価率が改善したこと等から、セグメント利益は20億1千9百万円（前年同期比18.0%増）と増益となりました。

#### ② その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、主に動物用医薬品事業の売上が増加したことから、売上高12億8千5百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益7千3百万円（前年同期比17.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ97億2千8百万円増加し、759億6千3百万円となりました。これは主に現金及び預金は減少しましたが、投資その他の資産のその他および受取手形及び売掛金等が増加したためであります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ87億3千7百万円増加し、324億1千3百万円となりました。これは、主に長期借入金および短期借入金が増加したためであります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9億9千1百万円増加し、435億5千万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から7.0ポイント低下し57.3%となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、平成30年5月11日に公表した第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたしました。なお、通期の業績予想につきましては変更しておりません。

詳細につきましては、本日（平成30年8月6日）公表いたしました「平成31年3月期第2四半期累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,221	8,047
受取手形及び売掛金	10,400	13,935
有価証券	1,125	1,125
商品及び製品	6,810	7,430
仕掛品	479	520
原材料及び貯蔵品	4,579	4,447
その他	1,202	1,538
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	34,818	37,044
固定資産		
有形固定資産	12,129	13,034
無形固定資産	3,334	3,364
投資その他の資産		
投資有価証券	11,747	11,377
その他	4,229	11,167
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	15,953	22,520
固定資産合計	31,416	38,919
資産合計	66,235	75,963
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,218	6,120
短期借入金	1,200	3,150
その他の引当金	1,411	875
その他	6,384	5,835
流動負債合計	14,214	15,980
固定負債		
長期借入金	1,750	8,625
環境対策費用引当金	820	820
その他の引当金	265	—
退職給付に係る負債	6,586	6,675
その他	39	311
固定負債合計	9,460	16,432
負債合計	23,675	32,413
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	39,280	40,145
自己株式	△2,278	△2,278
株主資本合計	39,052	39,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,657	3,747
退職給付に係る調整累計額	△149	△113
その他の包括利益累計額合計	3,507	3,633
純資産合計	42,559	43,550
負債純資産合計	66,235	75,963

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	12,813	12,761
売上原価	7,751	7,449
売上総利益	5,062	5,311
返品調整引当金繰入額	△1	7
差引売上総利益	5,063	5,303
販売費及び一般管理費	3,986	4,086
営業利益	1,077	1,217
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	97	117
その他	40	63
営業外収益合計	138	181
営業外費用		
支払利息	3	4
不動産賃貸費用	29	28
その他	8	10
営業外費用合計	42	43
経常利益	1,172	1,355
税金等調整前四半期純利益	1,172	1,355
法人税、住民税及び事業税	203	334
法人税等調整額	△74	△41
法人税等合計	129	293
四半期純利益	1,043	1,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,043	1,062

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	1,043	1,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	683	90
退職給付に係る調整額	10	36
その他の包括利益合計	693	126
四半期包括利益	1,736	1,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,736	1,188

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	11,634	1,178	12,813	—	12,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	12	△12	—
計	11,634	1,190	12,825	△12	12,813
セグメント利益	1,711	62	1,773	△696	1,077

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△696百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	11,475	1,285	12,761	—	12,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	12	△12	—
計	11,475	1,298	12,773	△12	12,761
セグメント利益	2,019	73	2,093	△875	1,217

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△875百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 補足情報

#### (1) 主力品の売上高

## 主 力 品 の 売 上 高 (平成31年3月期 第1四半期実績)

(単位：億円)

品 目 名	前 期 平成30年3月期		当 期 平成31年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第1四半期 実績	年間実績	第1四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	35.6	132.3	31.7	117.3	△ 10.8
甲状腺ホルモン剤 チラーヂン	13.1	49.1	19.8	55.2	51.4
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	9.9	41.6	10.1	45.4	1.8
高脂血症治療剤 リピディル	11.6	42.9	8.0	33.8	△ 30.5
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	1.5	10.6	5.4	29.4	263.0
高血圧症治療剤 アムロジピン	4.4	16.2	3.6	13.7	△ 19.2
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	4.5	15.8	3.2	11.7	△ 28.7
緊急避妊剤 ノルレボ	3.2	12.1	3.1	12.6	△ 1.6
抗甲状腺剤 メルカゾール	2.8	11.0	3.1	11.5	9.4
経皮吸収卵胞・黄体ホルモン製剤 メノエイド コンビパッチ	1.7	7.4	2.2	6.7	24.2

※ カンデサルタン配合剤を含む